

船舶事故調査報告書

平成28年9月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成27年11月1日 11時50分ごろ
発生場所	大分県佐伯市大島漁港北西方沖 豊後大島港西防波堤灯台から真方位310° 800m付近 (概位 北緯32° 58.3′ 東経132° 03.9′)
事故の概要	プレジャーボート千代丸は、東北東進中、また、プレジャーボートニューおおしまは、錨泊中、両船が衝突した。 千代丸は、船首部外板に擦過傷を生じ、また、ニューおおしまは、左舷船尾部外板に破損を生じた。
事故調査の経過	平成27年11月17日、調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート 千代丸、5トン未満（長さ11.14m） 294-21186大分、個人所有 B プレジャーボート ニューおおしま、5トン未満（長さ6.71m） 294-15168大分、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型・特殊・特定 B 船長B、二級小型・特殊
負傷者	なし
損傷	A 船首部外板に擦過傷 B 左舷船尾部外板に破損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北西、風力 5、視界 良好 海象：波高 約1.0～1.5m
事故の経過	船長Aは、魚群探知機の画面を見ながら航行していた。 B船は、錨泊していた。
分析	A船は、船長Aが、魚群探知機の画面を見ていて、船首方の見張りを適切に行っていなかったことから、B船に気付かずに航行して衝突したものと考えられる。 B船は、錨泊中、A船と衝突したものと考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、大島漁港北西方沖において、A船が東北東進中、B船が錨泊中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。